

早いもので、2024 年も残すところ 1 か月です。今年はどのような本と出会い、何を感じましたか？

一段と寒さも本格的となる時期です。体調管理に気を付けながら、長い夜、ぜひ読書に親しむひとときにしてみてください。

きっと、豊かな時間となるはずです。新着図書も入荷しておりますので、ぜひ図書館に足を運んでくださいね。



新着図書 一覧

誰も知らない素数のふしぎ オイラーからたどる未解決問題への挑戦 小山 信也／結果から原因を推理する「超」入門 ベイズ統計 石村 貞夫／世界は「e」でできている オイラーが見出した神出鬼没の超越数 金 重明／まなごしの革命 ハナムラチカヒロ／私たちのサステナビリティまもり、つくり、次世代につなげる 工藤 尚悟／2050 年の地球を予測する ―科学でわかる環境の未来 伊勢 武史／はじめての哲学 藤田 正勝／問いの編集力 思考の「はじまり」を探究する 安藤 昭子／「内向的な人」の幸福戦略 精神科医 Tomy／議論入門 香西 秀信／言葉と歩く日記 多和田 葉子／糖質疲労「疲れやすさ」と「老化」の正体 山田 悟／韓国カルチャー 伊東 順子／クスノキの女神 東野 圭吾／明智 恭介の奔走 今村 昌弘／「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるのか 今井 むつみ／人生は「気分」が 10 割 最高的一天が一生続く 106 の習慣 キム・ダスル／自分を好きになる 7 つの言葉 中島 輝／旅の終わりに君がいた いぬじゅん／六月のふりふりぎっち 万城 目学／シャーロックホームズの凱旋 森見 登美彦／わたしの知る花 町田 そのこ／境界線 中山 七里／新謎解きはダイナーの後で 東川 篤哉／アリアドネの声 井上 真偽／告白撃 住野 よる／あの星が降る丘で君とまた出会えたい 汐見 夏衛／あの花が咲く丘で君とまた出会えたら another 汐見 夏衛／サンショウウオの四十九日 朝比 奈秋／頂きを目指して 石川 祐希／大谷 翔平の言葉 桑原 晃弥／バッタを倒すぜアフリカで 前野 ウルド 浩太郎／話す力 阿川 佐和子／なぜ働いていると本が読めなくなるのか 三宅 香帆／虎に翼 下 NHK 出版／赤と青のガウン オックスフォード留学記 彬子 女王／あつという間に人は死ぬから「時間を食べつくすモンスター」の正体と倒し方 佐藤 舞／「好き」を言語化する技術 推しの素晴らしさを語りたいのに「やばい！」しかでてこない 三宅 香帆／団地のふたり 藤野 千夜／家族だから愛したんじゃないなくて、愛したのが家族だった + かきたし 岸田 奈美／スメラミシング 小川 哲／生殖記 朝井 リョウ／架空犯 東野 圭吾／地面師たち ファイナル・ベッツ 新庄 耕／百年の孤独 ガルシアマルケス／私はチクワに殺されます 五条 紀夫／アイデアの再臨 五条 紀夫／ツミデミック 一穂 ミチ／終りに見た街 山田 太一／ぼくが生きてる、ふたつの世界 五十嵐 大／人体大全 なぜ生まれ、死ぬその日まで無意識に動き続けられるのか ビル・ブライソン 桐谷 知未／エンド・オブ・ライフ 佐々 涼子／生命の意味論 多田 富雄 養老 孟司／オスの本懐 和田 秀樹 池田 清彦／TOKYO 名建築案内 米山 勇 山内 貴範／ふつうの材料だけで作るお店みたいなスイーツレシピ me g u ' c a f e / 勝つ、ではなく、負けない。 結果を出せず、悩んでいるリーダーへ 黒田 剛／日々挑戦、日々成長 ジョシュ・ホーキンソン／最強の身体能力 プロが実践する脱力スキルの鍛え方 中野 崇／頭がいい人の Chat GPT & Copilot の使い方 橋本 大也／あめつちのうた 朝倉 宏景／鳶屋重三郎と江戸のアートがわかる本 歴史の謎を探る会／江戸の出版王 鈴木 英治／NHK 連続テレビ小説 おむすび 上 根本 ノンジ 青木 邦子／オーバーロード 13 聖王国の聖騎士 [下] 丸山 くがね／オーバーロード 14 滅国の魔女 丸山 くがね／白楽天 ビギナーズ・クラシックス 中国の古典 下定 雅弘／5 分後に思わず涙。世界が赤らむ、その瞬間に 桃戸 ハル／5 分後に思わず涙。青い星の小さな出来事 桃戸 ハル／クラスメイトの女子、全員好きでした 爪 切男／笑うマトリョーシカ 早見 和真／Qros の女 菅田 哲也／誰よりもつよく抱きしめて 新堂 冬樹

絵本、覚えていますか？



小さな頃、ご家族や学校の先生に、絵本を読み聞かせてもらった

経験がある人も多いのではないのでしょうか。

成長して、改めて童話や絵本を読んでも、



また幼い頃とは違った発見や感想に気づくものです。

湖北高校図書館には、8 番の棚に絵本も豊富にありますので、

ぜひ手に取ってみてください。



新美南吉作の児童文学。小学校国語教科書の教材の定番ともいえる作品です。ごんの気持ちの移り変わりや、ラストシーンで感じたことなど、思い返してみてもいかがでしょうか？



マイアサウラのお母さんがひろってきたたまごは、ティラノサウルスの赤ちゃんだったのです…。親子の切ない愛情物語。種族とは？ 家族とは？ 考えさせられる一冊です。

追悼 谷川 俊太郎 氏

1931 年、東京生まれ。52 年に第 1 詩集「二十億光年の孤独」で鮮烈なデビュー。宇宙的なスケールを持つ新しい感性の詩人として注目を集めた。その後も多種多様な作品を発表。読売文学賞、萩原朔太郎賞、三好達治賞、朝日賞などを受賞した。このほか多数の作詞、絵本、エッセー、翻訳も手がけた。とくに、ひらがなの可能性を深く追求したことも知られ、「ことばあそびうた」は有名。教科書にも、「生きる」、「朝のリレー」などの作品が取り上げられた。翻訳では、「マザー・グースのうた」やスヌーピーとチャーリー・ブラウンが人気の漫画「ピーナッツ」シリーズ、絵本「スイミー」などで子供の世界に寄り添った。大人が読んでも心にしみる作品を多く手掛けた。



ともに生きるのが喜びだから、ともに老いるのも喜びだ。ともに老いるのが喜びなら、ともに死ぬのも喜びだろう。(谷川 俊太郎氏の名言より)